

平成28年度 第2回徳島県動物由来感染症対策検討会 次 第

と き 平成29年3月22日（水）

午後1時30分から

ところ 徳島県庁804会議室

徳島市万代町1-1

1 開 会

2 危機管理部県民くらし安全局長 あいさつ

3 委員長 あいさつ

4 議題

(1) 今年度の事業報告について

① 高病原性鳥インフルエンザ関係

死亡野鳥等における高病原性鳥インフルエンザ検査状況

生活安全課

高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）に係る対応について

畜産振興課

食鳥処理施設・愛玩鳥の対応

安全衛生課

鳥インフルエンザに係る人への対応

感染症・疾病対策室

② 動物由来感染症対策に係る連携について

マニュアル作りに向けて～対応フローと関係機関

③ モニタリング調査結果報告

譲渡動物の糞便（寄生虫）検査

動物愛護管理センター

ジビエ病原体保有状況調査

食肉衛生検査所

(2) 平成29年度事業計画について

(3) その他

5 健康増進課 感染症・疾病対策室長 あいさつ

6 閉 会

平成28年度 第2回 徳島県動物由来感染症対策検討会 配席図

県庁8階 804会議室

スクリーン

委員長 馬原委員		顧問 井上顧問 藤田顧問	
岡部委員 藤野委員			藤井委員 畑田委員

事務局			安全衛生課			県民くらし安全局			感染症・疾病対策室																	
○			○			○			○																	
織田			矢野			課長			局長			室長			補佐											
発 表 者									畜産振興課						生活安全課											
○			○			○			○			○			○											
動物愛護管理センター									食肉衛生検査所									保環センター						保健所		
○			○			○			○			○			○			○			○					

報道

平成28年度第2回徳島県動物由来感染症対策検討会 委員等名簿

委 員	区 分	氏 名	勤 務 先
	学識経験者	馬原 文彦	馬原医院
	(一社)徳島県医師会	岡部 達彦	岡部内科クリニック
	//	藤野 佳世	ふじのクリニック
	(公社)徳島県獣医師会	藤井 啓	OATアグリオ(株)
	//	畑田 麻美	ふたば動物病院
顧 問	区 分	氏 名	勤 務 先
	学識経験者	井上 智	国立感染症研究所
	//	藤田 博己	馬原アカリ医学研究所

部会員

各保健所担当

食肉衛生検査所担当

動物愛護管理センター担当

保健製薬環境センター担当

健康増進課感染症・疾病対策室担当

畜産振興課担当

生活安全課担当

死亡野鳥等における高病原性鳥インフルエンザ検査状況

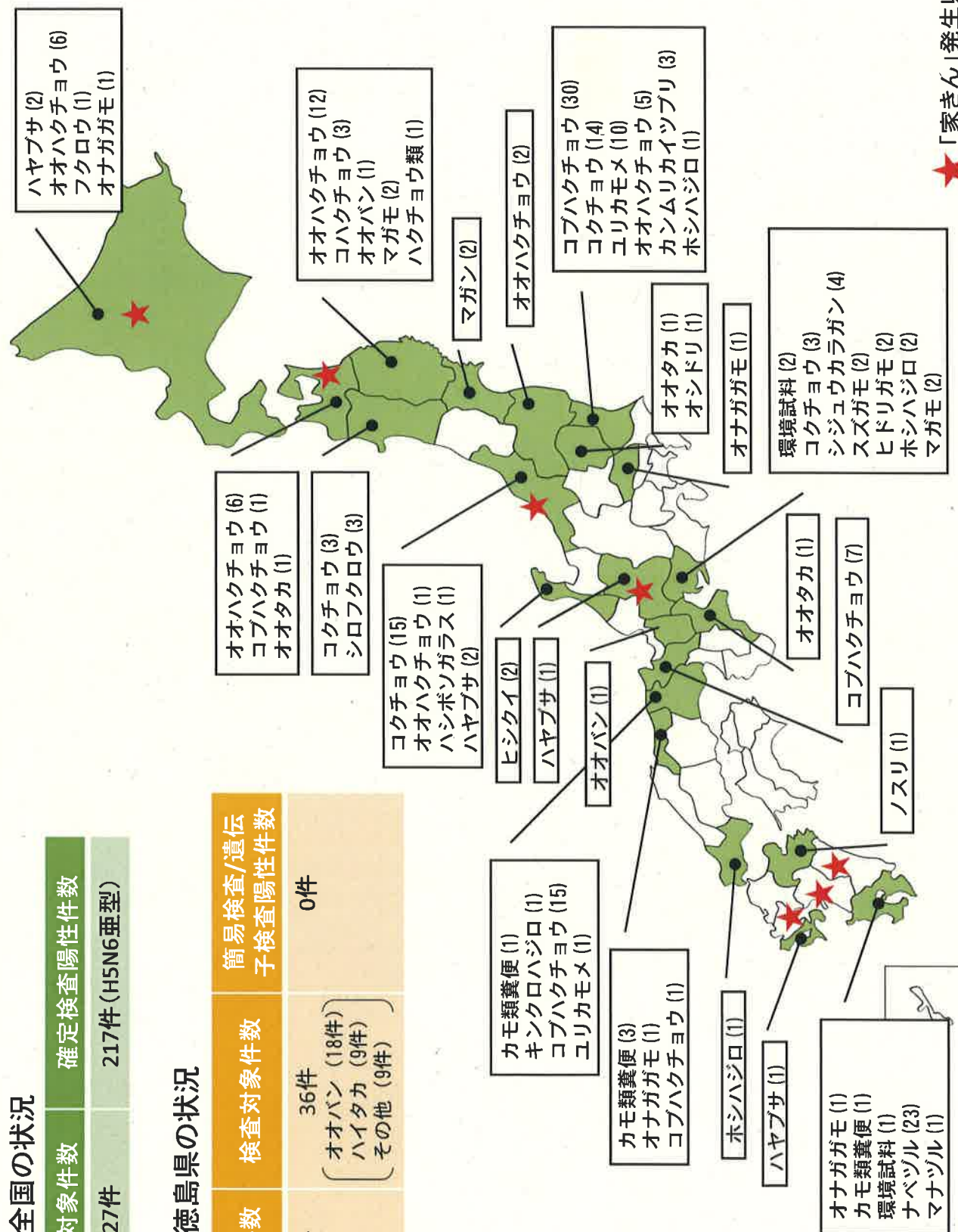
(1) 全国の状況

検査対象件数	確定検査陽性件数
227件	217件 (H5N6亜型)

生活安全課

(2) 徳島県の状況

相談件数	検査対象件数	簡易検査/遺伝子検査陽性件数
88件	36件 (オオバン (18件) ハイタカ (9件) その他 (9件))	0件



★「家きん」発生県

高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）に係る対応について

1 国内における HPAI 発生状況（平成 28-29 年シーズン）

発生概要 : 7 道県 10 農場 約 138.4 万羽（詳細は次ページを参照）
血清型 : H5N6 亜型

2 国内 HPAI 発生に伴う徳島県の対応状況（農林水産部）

（1）高病原性鳥インフルエンザ防疫対策会議の開催

開催回数 : 2 回（平成 28 年 12 月 1 日、平成 29 年 1 月 17 日）

内 容 : 消石灰による緊急消毒の実施
飼養衛生管理基準の遵守等、防疫体制の徹底等について周知

（2）養鶏農家への指導（家畜保健衛生所）

- ① 鶏舎周辺に重点をおいた農場の消毒
- ② 野生動物等の侵入防止対策として、家きん舎や防鳥ネット等の定期的な点検及び破損箇所の修繕
- ③ 異常家きん発生時の早期通報

3 防疫従事者への指導

（1）徳島県家畜防疫演習

開催日 : 平成 28 年 11 月 2 日

開催場所 : 三好市（三野市三野体育館・グラウンド）

演習内容 : 2 カ所の農場で発生した場合を想定した机上演習及び発生農場での防疫作業を中心とした実地演習

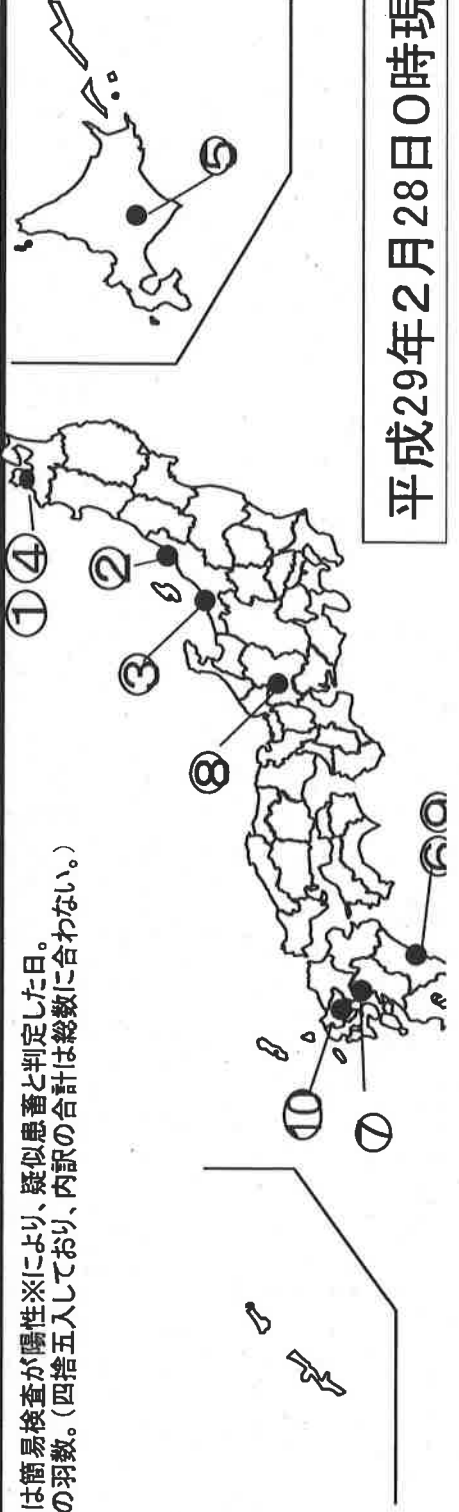
（2）総合県民局、東部農林水産局での研修会

現地対策本部を設置することになっている、総合県民局及び東部農林水産局ごとに、防疫従事者を対象として、防護服の着脱訓練を含めた研修会を随時開催。

平成28-29年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生について

発生概要(全7道県 10農場 約138.4万羽)				農林水産省 対策本部		防疫対応状況(予定は最速の場合)			
事例	発生日 ^{注1}	発生場所	飼養羽数 ^{注2} /種別	防疫措置 (殺処分、消毒等)		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	21日目
① 青森県	2016年 11月28日	青森市	約1.8万羽 あひる	11月29日開始 12月5日完了	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除	防疫対応終了
② 新潟県	2016年 11月29日	関川村	約3.1万羽 採卵鶏	11月29日開始 12月5日完了	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月20日完了	12月20日解除	12月27日解除	
③ 新潟県	2016年 11月30日	上越市	約2.4万羽 採卵鶏	12月1日開始 12月6日完了	12月1日開始 12月6日完了	12月17日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月28日解除	
④ 青森県	2016年 12月2日※	青森市	約4.700羽 あひる	12月2日開始 12月5日完了	12月2日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除	
⑤ 北海道	2016年 12月16日	清水町	約2.8万羽 採卵鶏	12月17日開始 12月24日完了	12月17日開始 12月24日完了	1月4日開始 1月10日完了	1月10日解除	1月15日解除	
⑥ 宮崎県	2016年 12月19日	川南町	約1.2万羽 肉用鶏	12月20日開始 12月21日完了	12月20日開始 12月21日完了	1月1日開始 1月5日完了	1月5日解除	1月12日解除	
⑦ 熊本県	2016年 12月27日	南関町	約9.2万羽 採卵鶏	12月27日開始 12月28日完了	12月27日開始 12月28日完了	1月8日開始 1月12日完了	1月12日解除	1月19日解除	
⑧ 岐阜県	2017年 1月14日	山県市	約8.1万羽 採卵鶏	1月14日開始 1月17日完了	1月14日開始 1月17日完了	1月28日開始 2月1日完了	2月1日解除	2月8日解除	
⑨ 宮崎県	2017年 1月24日	木城町	約1.7万羽 肉用鶏	1月25日開始 1月26日完了	1月25日開始 1月26日完了	2月6日開始 2月10日完了	2月10日解除	2月17日解除	
⑩ 佐賀県	2017年 2月4日	江北町	約7.1万羽 肉用種鶏	2月4日開始 2月6日完了	2月4日開始 2月6日完了	2月17日開始 2月21日完了	2月21日解除	2月28日解除	

注1) 遺伝子検査がH5亜型陽性又は簡易検査が陽性※により、疑似患者と判定した日。
注2) 飼養羽数は、患者、疑似患者の羽数。(四捨五入しており、内訳の合計は総数に合わない。)



平成29年2月28日0時現在

食鳥処理施設での対応

必要な対応

- 確実な探知
→ スクリーニング検査の徹底
速やかな情報伝達
- 蔓延防止
→ 感染の疑われる生体の搬入防止
汚染物の適切な処理
- 人への感染予防

実施した内容

- 検査員の研修
- 食鳥処理場への指導
- 有識者による講演

愛玩鳥での対応

必要な対応

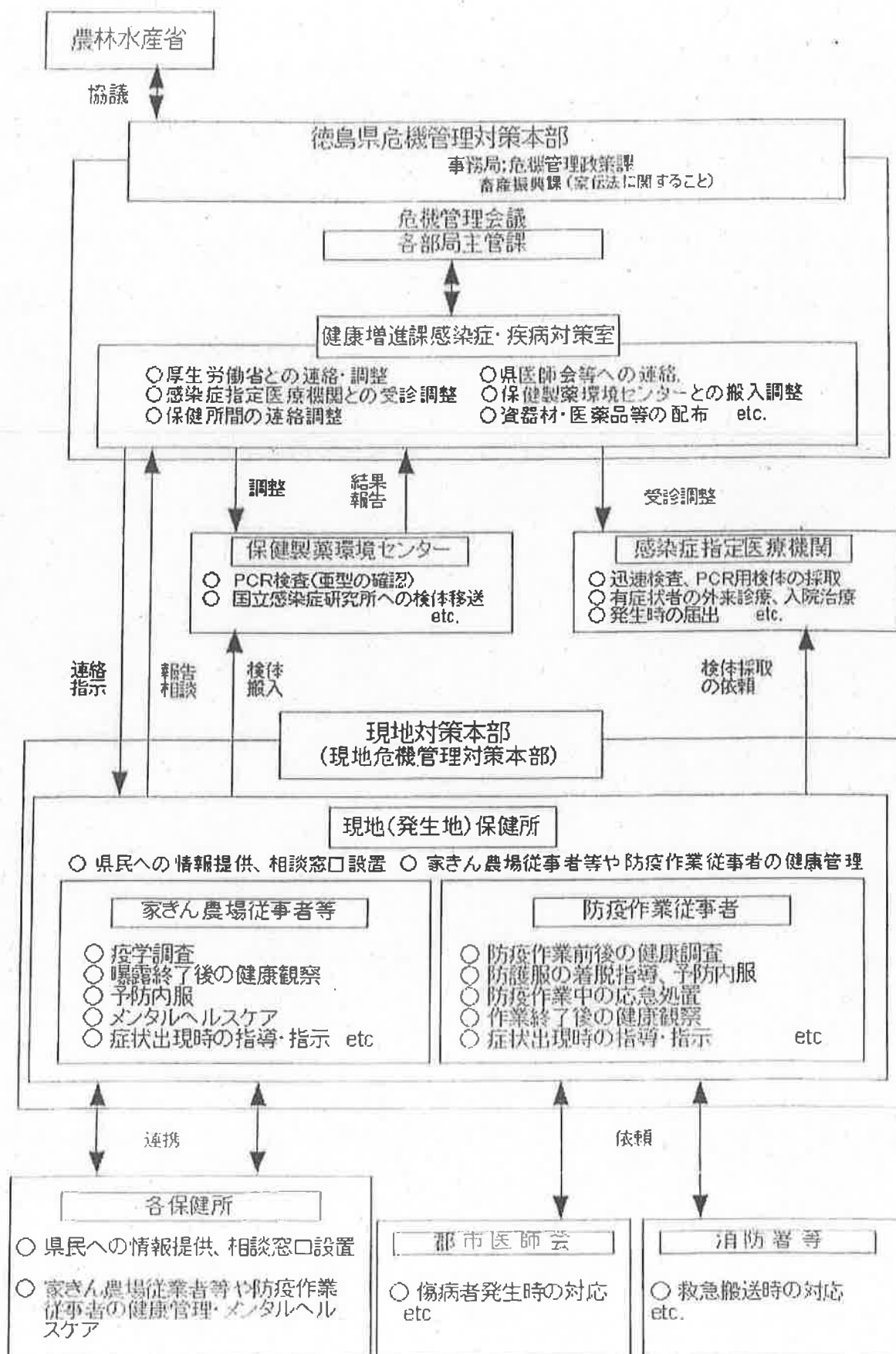
- 確実な探知
→ 相談窓口の周知
- 感染防止
→ 動物園、学校、愛玩鳥取扱業者
- 人への感染予防
→ 適正飼養の徹底

実施した内容

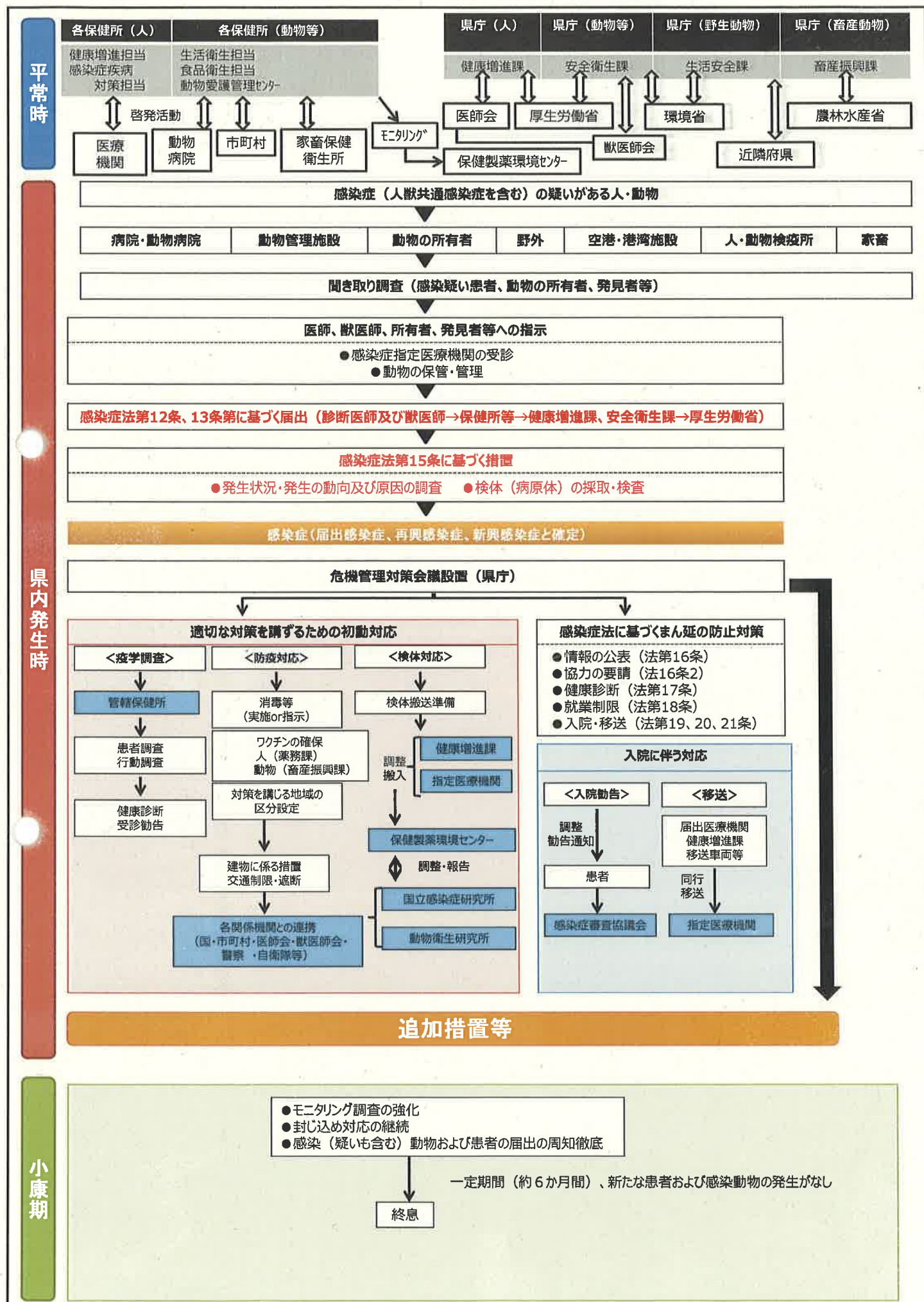
- ホームページ、講習会等での
相談窓口の周知
- 関係機関との連携
- 必要に応じた調査、通知文書
- 動物由来感染症防止の啓発

II 本県でトリに鳥インフルエンザが発生した場合

図1 トリに鳥インフルエンザが発生した時の対応



徳島県感染症対応マニュアル フロー図(素案)



糞便検査記録表 (検査者 _____)

徳島県

検体No. _____ 動物種 _____ 年齢 歳 月 _____ 検査日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
(通しNo. _____) (動物ID _____) 性別 ♂ ・ ♀ _____ 採材日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

由来 負傷・引取 (飼主有・無) ・捕獲 (場所 _____ 市郡 _____ 町村) _____ 収容日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
駆虫薬投与 有 (投与月日: _____ 種類: _____) ・無

糞便3～5g程度を採取、観察

性状 : 固形 ・ 軟便 ・ 泥状 ・ 水状

血液混入 : 有 ・ 無

寄生虫様異物: 有 (_____) ・ 無

他異物 : 有 (_____) ・ 無

実施した手順の□にチェック(△:省略可)

□ 直接薄層塗抹法

- 2～3枚のスライドガラスに水(生食)を1滴たらす
- 爪楊枝で糞便を少量取りよく混ぜる
- カバーガラスを載せる

□ MGL変法

- 15mL遠沈管に10%ホルマリン液を7～8mL入れる
- 竹串で糞便を1g程度取りよく混ぜる
- 20分放置
- 別の15mL遠沈管に、漏斗とガーゼをセットする
- 濾過する
- 濾過液に酢酸エチルを2～3mL加える
- 蓋をしっかりと閉めて横向きシェイク30sec
- 遠心 2000rpm 5min
- 糞便層が管壁にへばりついているので、爪楊枝で剥がす
- 沈渣を0.5mLくらい残して上清をホルマリン用廃液瓶に捨てる
- スポイトで沈渣を混ぜる
- スライドガラスに水とヨード液を1滴ずつ乗せる
- 沈渣を1滴ずつたらしよく混ぜる
- カバーガラスを載せる

□ 飽和シヨ糖水浮遊法

- 15mL遠沈管に水を2～3mlを入れる
- 竹串で糞便を1g程度取りよく混ぜる
- △ 更に水を7～8ml加える
- △ 別の15mL遠沈管に、漏斗とガーゼをセットする
- △ 濾過する
- △ 遠心 2000rpm 5min
- △ 沈渣を0.5mLくらい残して上清を捨てる
- △ シヨ糖浮游液を7～8分目まで加える
- △ 遠心 2000rpm 5min
- シヨ糖浮游液を盛り上げるまで満たす
- 30～40分放置
- カバーガラスあるいはループエーゼで液面を採取
- スライドガラスに載せる

観察結果

① 直接薄層塗抹法	② MGL変法	③ 飽和シヨ糖水浮遊法

糞便検査結果

検体情報				収容情報		検査			備考						
通し No.	検体情報 動物種	所内検 物ID	所内検 体No.	年齢	性別	備考	場所	由来	月日	駆虫 方法	採材日	検査日	便性状	結果	備考
1	ネコ	28131		6ヶ月	♀		美馬市	所有者不明引取	2016/10/28	未	直接・浮遊	2016/11/4	2016/11/4	回虫卵	
2	イヌ			5才	♂		阿南市	捕獲	2016/10/20	未	直接・浮遊	2016/11/7	2016/11/7	軟便	
3	イヌ	16195		2ヶ月	♀	池田町	三好市	捕獲	2016/10/12	済	直接・浮遊	2016/11/10	2016/11/10	軟便	駆虫日11/1
4	イヌ	16196		2ヶ月	♀	池田町	三好市	捕獲	2016/10/14	済	直接・浮遊	2016/11/10	2016/11/10		駆虫日11/1
5	イヌ	16197		2ヶ月	♀	池田町	三好市	捕獲	2016/10/12	済	直接・浮遊	2016/11/10	2016/11/10	軟便	回虫・コクシジウム
6	イヌ	16213		8才	♀		美波町	捕獲	2016/10/20	未	直接・浮遊	2016/11/10	2016/11/10		コクシジウム
7	ネコ	28095		4ヶ月	♀	土成町	阿波市	所有者不明引取	2016/8/29	済	直接・浮遊	2016/11/10	2016/11/10		陰性
8	ネコ	28122		2ヶ月	♂		阿南市	所有者不明引取	2016/10/6	未	直接・浮遊	2016/11/10	2016/11/10		コクシジウム
9	ネコ	28108		3ヶ月	♂		美馬市	所有者不明引取	2016/9/16	未	直接・浮遊	2016/11/13	2016/11/13		陰性
10	イヌ	16221		2ヶ月	♂		吉野川市	所有者不明引取	2016/10/31	未	直接・浮遊	2016/11/15	2016/11/15	軟便	コクシジウム
11	ネコ	27256		2ヶ月	♀	鴨島町	吉野川市	所有者不明引取	2016/11/16	未	直接・浮遊	2016/11/30	2016/11/30		陰性
12	イヌ	16226		2ヶ月	♂	吉野町	阿波市	所有者不明引取	2016/10/31	未	直接・浮遊	2016/12/5	2016/12/5		陰性
13	イヌ	16243		2ヶ月	♂		勝浦町	所有者不明引取	2016/12/2	未	直接・浮遊	2016/12/8	2016/12/8		陰性
14	イヌ	16246		2ヶ月	♀		勝浦町	所有者不明引取	2016/12/2	未	直接・浮遊	2016/12/8	2016/12/8		陰性
15	イヌ	16238		2ヶ月	♀	池田町	三好市	所有者不明引取	2016/11/25	未	直接・浮遊	2016/12/8	2016/12/8		コクシジウム
16	イヌ	16230		7ヶ月	♂		美波町	捕獲	2016/11/10	未	直接・浮遊	2016/12/9	2016/12/9		回虫
17	ネコ	28129		2ヶ月	♂		小松島市	所有者不明引取	2016/10/13	未	直接・浮遊	2016/12/9	2016/12/9		陰性
18	イヌ	16241		2ヶ月	♂	鴨島町	吉野川市	所有者不明引取	2016/11/15	未	直接・浮遊	2016/12/10	2016/12/10		陰性
19	イヌ	16237		2ヶ月	♀	池田町	三好市	所有者不明引取	2016/11/25	済	直接・浮遊	2016/12/12	2016/12/12		コクシジウム
20	ネコ	28135		2ヶ月	♀	鴨島町	吉野川市	所有者不明引取	2016/11/25	未	直接・浮遊	2016/12/12	2016/12/12		回虫
21	ネコ	28137		1才	♂		海陽町	所有者不明引取	2016/12/1	未	直接・浮遊	2017/1/4	2017/1/4		回虫・鉤虫
22	イヌ	16246		3ヶ月	♀	吉野町	勝浦町	所有者不明引取	2016/12/2	未	直接・浮遊	2017/1/4	2017/1/4		コクシジウム
23	イヌ	16222		3ヶ月	♂		阿波市	所有者不明引取	2016/10/31	未	直接・浮遊	2017/1/5	2017/1/5		陰性
24	ネコ	28123		1才	♀	大麻町	鳴門市	捕獲	2016/9/28	済	直接・浮遊	2017/1/5	2017/1/5		回虫
25	イヌ	16256		3才	♀	鮎喰町	徳島市	捕獲	2016/12/26	未	直接・浮遊	2017/1/10	2017/1/10		陰性
26	イヌ	16257		4才	♀		小松島市	捕獲	2016/12/27	未	直接・浮遊	2017/1/11	2017/1/11		陰性
27	イヌ	16287		5才	♂	沖浜	徳島市	所有者不明引取	2017/1/31	未	直接・浮遊	2017/2/24	2017/2/24	軟便	陰性
28	イヌ	16292		5ヶ月	♀		東みよし町	捕獲	2017/2/8	未	直接・浮遊	2017/2/24	2017/2/24		回虫・コクシジウム
29	イヌ	16294		2才	♀	石井	東みよし町	捕獲	2017/2/8	未	直接・浮遊	2017/2/24	2017/2/24		陰性
30	ネコ	28139		2才	♀	石井	石井町	所有者不明引取	2017/1/27	未	直接・浮遊	2017/2/24	2017/2/24		陰性
31	ネコ	28140		7ヶ月	♀	入田町	徳島市	所有者不明引取	2017/2/7	未	直接・浮遊	2017/2/24	2017/2/24	軟便	マンソン裂頭条虫・コクシジウム

平成29年3月22日

「阿波地美栄処理施設衛生管理認証制度」確立事業に係る
病原体保有状況調査について

1 調査期間 平成28年4月～29年3月

2 検体数及び主な捕獲場所

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・三好市 シカ 6、イノシシ 4 | ・美馬市 シカ 1 |
| ・阿波市 シカ 7、イノシシ 13 | ・鳴門市 イノシシ 2 |
| ・名西郡 イノシシ 1 | ・吉野川市 シカ 2 |
| ・徳島市 イノシシ 6 | ・小松島市 イノシシ 2 |
| ・那賀郡 シカ 4 | ・海部郡 シカ 4、イノシシ 2 |

合計 シカ 24頭、イノシシ 30頭 (54頭)

3 検査結果

(1) E型肝炎ウイルス (HEV) ・ ・ 血清から HEV 遺伝子を検出。

シカ 1/21 (5%) イノシシ 0/26 (0%)

(2) リケッチア等 ・ ・ 抗体検査 (IP 法 : ×40 以上を陽性)

日本紅斑熱 ツツガムシ病 SFTSV

シカ 8/21 (38%) 9/21 (43%) 1/21

(5%)

イノシシ 14/28 (50%) 11/28 (39%) 4/28

(14%)

(3) 細菌 ・ ・ 糞便中の保菌状況 シカ イノシシ

病原性大腸菌 0/23 (0%) 0/25 (0%)

カンピロバクター 2/23 (9%) 6/25 (24%)

エルシニア属菌 0/23 (0%) 0/25 (0%)

野兔病菌 (微量凝集反応法による抗体検査)

シカ 10/21 (48%) イノシシ 9/28 (32%)

(4) 寄生虫 ・ ・ 筋肉から PCR 法

住肉孢子虫 シカ 20/23 (87%) イノシシ 24/28

(86%)

ヘパトゾーン イノシシ 23/28 (82%)

(5) 有害残留物質

筋肉中の放射性物質検査 シカ 0/14

イノシシ 0/9 (基準値未満 1 : Se 137 : 3Bq/Kg)

筋肉中の残留農薬検査 シカ 0/9 イノシシ 0/4

食肉衛生検査所

平成29年度 動物由来感染症検討会・部会事業計画

	検 討 会	部 会
平成28年 4～6月		・関係機関の連携整備計画案 ・<u>動物由来感染症対策マニュアル計画</u> ・モニタリング検査実施計画 ・<u>鳥インフルエンザ机上訓練計画</u> ・<u>狂犬病モニタリング計画</u>
7月～	第1回検討会（9月） ・事業実施進捗状況報告 ・本年度目標・事業計画の検討 ・情報収集手段・情報分析・提供計画の検討 ・関係機関の連携整備計画案検討 ・動物由来感染症発生時における危機管理体制の検討 ・動物由来感染症に関する研修会あり方検討（医療、獣医療及び行政関係者）	・<u>狂犬病モニタリング調査（免疫染色）</u> ・ジビエモニタリング調査（イノシシ・シカ対象） ・<u>譲渡動物寄生虫検査に関する検討</u> ・<u>ダニ媒介感染症対策への検討</u> ・<u>鳥インフルエンザ机上訓練（9月）</u> ・合同部会及び技術研修会の開催 ・情報収集手段・情報分析・提供計画案 ・関係機関・地域連携の推進 ・動物由来感染症に関する研修会
10月 ～		・モニタリングの実施及び結果分析 ・動物由来感染症に関する研修会（動物取扱業者、市町村等関係職員） ・関係機関・地域連携対策の推進
平成29年 2月	第2回検討会（2月） ・関係機関の連携整備計画修正案の検討・決定 ・情報収集手段・情報分析・提供計画の検討・決定 ・本年度事業結果の検証 ・次年度目標の検討・決定	・今年度実施事業まとめ ・次年度目標案 ・関係機関の連携整備計画修正案 ・情報収集手段・情報分析・提供計画の見直し検討 ・次年度目標・事業計画案提出
3月		今年度成果、整理報告書案作成

高病原性鳥インフルエンザ発生時の机上訓練計画(案)

○概要

食鳥処理施設において、高病原性鳥インフルエンザを確認した場合を想定した訓練を行う。

○目的

関係機関の連携体制を構築し、有事に円滑で的確な対応を行うことにより、家きんへの感染のまん延防止と人への感染防止を行う。

○参加者

食鳥処理場関係者、食鳥検査員(獣医師会)、食肉衛生検査所、保健所、家畜保健衛生所、安全衛生課、畜産振興課他

○スケジュール

- 4～6月 関係機関の調整、参加者の決定、訓練計画案作成
- 7～8月 訓練シナリオ作成、実施準備
- 9月 机上訓練の実施
検討会への報告

狂犬病モニタリング調査計画(案)

○概要

免疫染色による簡易検査の手法を習得する。

○目的

有事に備えた、より効率的な診断系の確立を目指す。

○検査実施機関

動物愛護管理センター

○スケジュール

- 4～9月 検査技術の習得
- 10～2月 モニタリング調査の実施
簡易検査法と従来法による比較検証